

## 政策提言フォーマット

## 1 団体概要

<b>団体名</b>	<b>所在地</b>
沖縄環境ネットワーク	沖縄県那覇市国場555 沖縄大学宇井研究室内
<b>代表</b>	
宇井 純 沖縄大学教授	
<b>担当</b>	<b>連絡先</b>
真貴志 好一	tel 098-832-2962
	fax 098-832-2962
	e-mail ui@okinawa-u.ac.jp

## 団体の活動プロフィール

1996年12月、日本環境会議「沖縄大会」を開催しました。その宣言において、平和を求める「沖縄の心」を縦軸とし、「環境の持続可能な発展」を横軸とするサステナブルエリアの形成を目標とし、国内外の環境NGOとの草の根交流・連携を図っていく「沖縄環境ネットワーク」の創設を提唱しました。

「沖縄環境ネットワーク」は、このような発足の経緯を経て1997年に活動を開始し、沖縄の環境問題に関わる

1. 公開勉強会
2. 情報収集と発信
3. 調査研究
4. 政策提言 など

さまざまな活動を続けています。

2000年7月13日～172地まで、12の国や地域から400人余の参加を得て「国際環境NGOフォーラム」を開催し、多くの環境問題を討議し、提言いたしました。

また「沖縄サミット」開催時には「NGOセンター」の運営を担いました。

別途に、郵便で下記の文書をお送りいたしましたのでご参照ください。

- ・ 会報創刊準備号
- ・ 沖縄環境ネットワーク通信14号
- ・ NGOセンター報告
- ・ 沖縄から世界へ(国際環境NGOフォーラム報告者)

## 政策提言フォーマット

## 2 政策提言概要

<p><b>(1) テーマ</b></p> <p>沖縄・亜熱帯島嶼性生態系の回復政策</p>
<p><b>(2) 政策対象分野</b></p> <p>自然保護政策・・・自然生態系回復政策</p>
<p><b>(3) 政策手段</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然現象把握のための公的機関とNGOとの共同アクションプログラムの着手</li> <li>2. 公的機関とNGOによる生態系回復アクションプログラムの策定</li> <li>3. 生態系回復県民アクションプログラムの提起</li> <li>4. 生態系回復アクション工事の予算化</li> </ol>
<p><b>(4) 提言概要</b></p> <p>1972年の復帰以来、沖縄で行なわれている様々な開発には沖縄の特異な生態系への視点が抜けていたために、亜熱帯の森、沢筋を集めた短い河川、サンゴ礁の海は「いのちの循環」が断ち切られています。河川には崩壊した山の瓦礫が河床に溜まり、サンゴの上には赤土粒子が堆積しています。</p> <p>沖縄の島々がサンゴ礁に守られ、亜熱帯の森が、西表ヤマネコ、ヤンバルクイナ、ノグチゲラなど貴重な固有種をはじめ多様な「いのち」を育てていることから出発し、回復の道筋を見出していくことがこの政策提言です。</p> <p><b>1970年の生態系への回復を当面の目標に</b></p> <p>森ではヤンバルクイナが自由に活動し、サンゴ礁の海が生き生きと輝いていた1970年頃の生態系への回復を当面の目標とします。</p> <p>沖縄本島北部の森に縦横に作られた(現在も進行中)コンクリート側溝つきアスファルトの林道は、ヤンバルクイナの雛を落とし、親鳥の生活環境を狭めています。大規模に造成した畑からは沈砂池を越えた大量の赤土を沢から海へ流し込んでいます。サンゴ礁の海ではテトラポットが海浜の砂を動かし、サンゴの上には赤土が堆積しています。この事実を公的機関とNGOとで把握することからスタートし、次のステップを進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 然現象把握のための公的機関とNGOとの共同アクションプログラムの着手</li> <li>2. 公的機関とNGOによる生態系回復アクションプログラムの策定</li> <li>3. 生態系回復県民アクションプログラムの提起</li> <li>4. 生態系回復アクション工事の予算化</li> </ol> <p>ぎりぎりのところで、まだ、間に合う。今からでも遅くはない。 ワンダフル沖縄の生態系再生を図る政策提言です。</p>
<p><b>(5) 政策の推進に当たっての検討事項</b></p> <p>今日まで行なってきた開発という名の公共事業がもたらした「自然破壊現象」を行政がNGOとともに、冷静に、また積極的に把握することが鍵であろう。行政とNGOが手を携えて共同の生態系回復アクションに取りかかることは、21世紀を生きる人々に共感をもって迎えられるであろう。</p>